

TOSHIBA

東芝蛍光灯直付器具取扱説明書

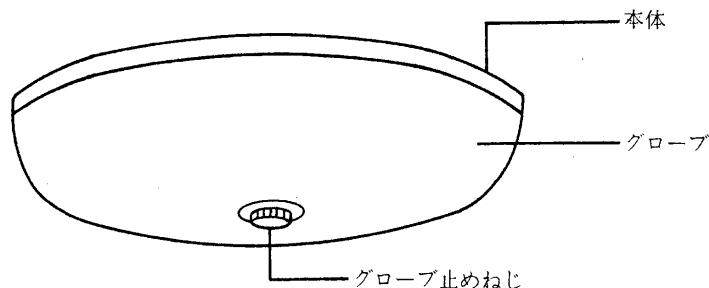
このたびは東芝蛍光灯直付器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は同種類の蛍光灯器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

各部のなまえ

防湿形



器具の取り付けかた

- 図-1は器具取付寸法図を示します。
取り付け場所に応じた取付穴を使用して器具を取り付けてください。
 - グローブ止めねじをはずして、本体よりグローブとランプをはずします。
 - 本体中央の電源穴より電源線を本体内に引き込み本体を取り付けます。
- ボックスに取り付ける場合
本体のボックス用取付穴を使用して、アウトレットボックス、スイッチボックスに取り付けられます。
- 天井、壁に直付けする場合
本体の木ねじ用取付穴を使用して、付属の木ねじで固定してください。
- 電源線をS L端子台に接続します。(図-2)
 - 電源線の被覆をストリップゲージに合わせてください。
 - 電源線をS L端子台に確実に差し込み、結線後は電源線を天井内に押し込んで器具内でたるまないようしてください。
 - 本体のアース端子にアース線を接続してください。(図-3)
 - ランプをランプホルダーに取り付け、ランプソケットを差し込みます。(図-3)
 - グローブ止めねじにパッキングを付けたのちグローブをグローブ止めねじで取り付けてください。(図-3)

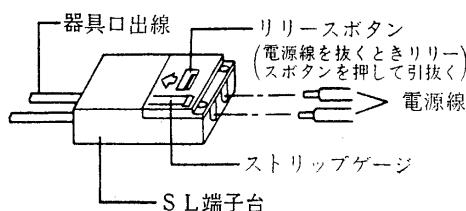
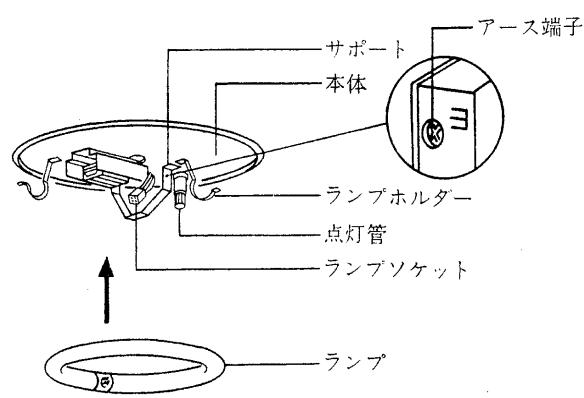
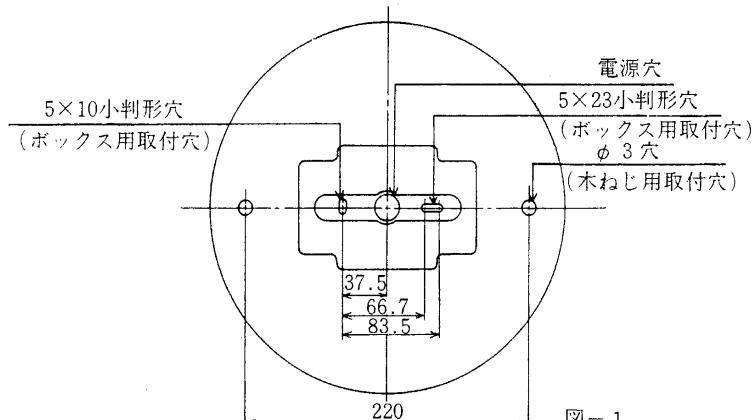


図-2

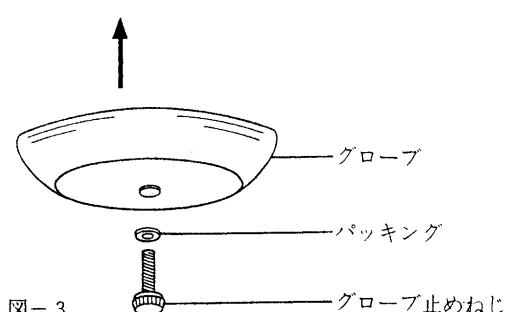


図-3

お客様へ

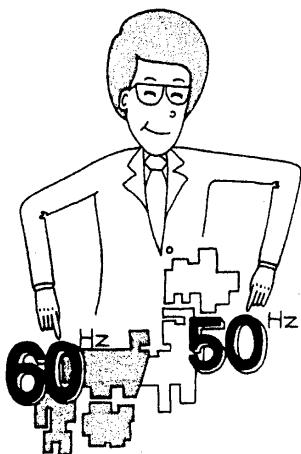
この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は法で禁じられております。

工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

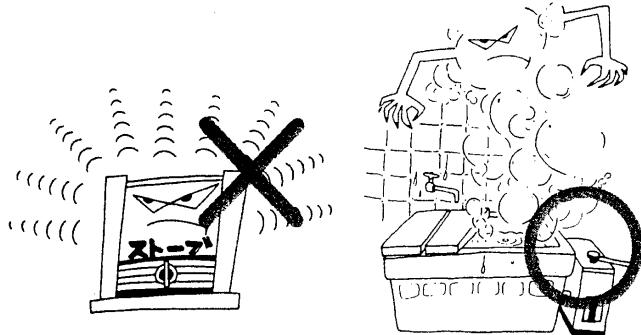
特にご注意を

- 器具には電源周波数が50ヘルツ(Hz)用と60ヘルツ(Hz)用の区別がありますので、地域の周波数に合った器具をご使用ください。まちがえてご使用になりますとランプ寿命が短くなったり過熱して焼損などのもとになりますので贈物として、いただいた場合や、ご転居のときには特にご注意ください。
 - 電源周波数のちがった地域にご転居のときは、一部部品の交換が必要です。お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、周波数変換については実費を請求させていただきます。

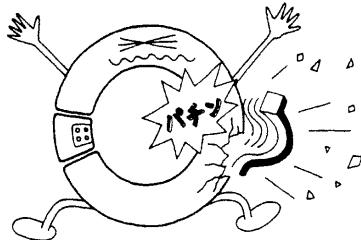


- この器具は天井の丈夫なところに取り付けてください。薄い天井板(1cm以下)や弱い天井に取り付けますと、ねじ止めが弱く振動などで器具が落下するもとになります。
- 器具に紙や布などをかぶせたりしないでください。火災や器具の変形のもとになります。
- 器具の改造やランプ以外の部品の交換は絶対におやめください。性能が十分に発揮できないばかりか大変危険です。

- この器具は屋内専用で5℃～35℃の温度範囲で使用するよう設計してあります。
- 暖房器具の近くなどの温度の高い場所でのご使用は絶対におやめください。火災などの事故のもとになります。



- ランプ・点灯管の着脱に際しては必ず電源を切ってから行ってください。またランプホルダーを強くはじくとランプが破損することがありますから注意してください。



- ランプ交換の際には東芝蛍光ランプ〈サークライン〉20ワットとご指定ください。
- 点灯管交換の際には東芝点灯管FG-1Eとご指定ください。

お手入れのしかた

- 器具のお手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。



- グローブが汚れたときは、やわらかい布を石けん水に浸し、よくしぼってからふきとってください。
- 本体は電気掃除機またはハタキなどでホコリをはらうようにしてください。

- ガソリンやベンジン・シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質、変色のもとになります。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。



- ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。
なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。